

第1 Yの罪責

- 1 詐欺罪の共同正犯（Yの行為①） ..... 10
- (1) 他人の財物
- (2) 人を欺いて財物を交付させた
- (3) 故意
- (4) 不法領得の意思
- (5) 共同正犯（後述）
- 2 窃盗罪の共同正犯（Yの行為②） ..... 7
- ・共同正犯
- 3 詐欺罪の共同正犯（Yの行為③） ..... 7
- (1) 他人の財物
- (2) 人を欺いて財物を交付させた
- (3) 故意
- (4) 不法領得の意思
- (5) 共同正犯（後述）
- 4 詐欺未遂罪（Yの行為④） ..... 7
- (1) 実行の着手
- (2) 結果の不発生
- (3) 故意
- (4) 不法領得の意思
- (5) 共同正犯（後述）
- 5 罪数 ..... 3

← 客体の性質に言及してください（pp. 258-259）。

第2 Zの罪責

窃盗罪の共同正犯（Zの行為①） ..... 7

- (1) 他人の財物
- (2) 窃取
- (3) 故意
- (4) 不法領得の意思
- (5) 共同正犯（後述）

← 被害者が誰かを意識しましょう（p. 262）。

第3 Wの罪責

詐欺罪の共同正犯（Wの行為①） ..... 20

- (1) 承継的共犯
- (2) 不能犯
- (3) 共同正犯

← 詳しく検討します（p. 263）。

← 不能犯を論じるかどうかは、見解によって違います（p. 264）。

第4 Xの罪責

1 詐欺罪の共同正犯（Xの行為①） ..... 7

・ 共同正犯

← 包括的共謀であることに言及します（pp. 256-266）。

2 窃盗罪の共同正犯（Xの行為②） ..... 7

・ 共同正犯

3 詐欺罪の共同正犯（Xの行為③） ..... 15

- (1) 共謀
- (2) 共同正犯関係の解消

← 詳しく検討します（pp. 266-267）。

4 詐欺未遂罪（Xの行為④） ..... 7

・ 共同正犯

5 罪数 ..... 3